

かわわべ

発行 河辺村公民館
編集 館報編集委員会
電話 河辺 17番
印刷所 (有) 藤田印刷所
大洲市常盤町 2273番

河辺村人口動態

(S. 50. 1月1日現)

世帯数	648
人口	2,538
男子	1,279
女子	1,259

(S. 45. 10月現)

世帯数	718
人口	2,810

(S. 40. 10月現)

世帯数	756
人口	3,599

昭和五十年を迎えて

地域社会の力は 住民の協力如何による

村長 稲田 三温



皆様明けましておめでとうございます。昭和五十年は激動の年と予測されておりましたが、予測どおり狂乱の年と言われながら暮らした一年でございました。

村政の上におきましても、国の示す需用抑制策により、皆様のご要望を満たすことが出来ませぬ残念に思いますと共に、深くお詫びを申し上げます。

皆様も十分ご承知のとおり、今日の日本工業界の経済成長はめざましく、われわれには予想もつかぬものであります。しかしその陰に生じた山村の現状はまことにみじめなものであります。

この対策として立法化されている過疎地域対策緊急措置法は四十九年度が前期五ヶ年計画の最終年でありました。

又、昨年まで山村振興整備事業、林業構造改善事業の特別指定により、村民各位のご協力のもとで産業基盤の整備を進めてまいりました。今日、その成果がめばえ始めつつありますが、今なお一層の有効且つ適切な施策が必要です。

その時期に対応するべく村内の

産地域の方向を明らかにするため、大洲喜多地区国営パイロット事業を軸として重点作目のすべてが生産できる脳川水系農業の特性を活用し、作目別の分業生産体系を整備して大規模な地域複合農業を確立すると共に、長浜臨海工業地帯の関連開発、国鉄内山線の開通、高速自動車道の建設等、今後急速に集積される大洲市の都市機能と連動するダイナミックな広域管農園を形成する」と以上のように書かれております。

ともあれ今日このように、すべてが広域行政化されつつある現況から見まして、近隣町村とくれば、まだまだ遅れがちな我が村としましては、一歩の退却を許されぬと、心配しております。

「その地域社会の力は、そこに住む住民の協力如何による」と言われま。

どうか皆様この郷土、この河辺は我が村が築き上げた他は誰れも心配していません。

今後のご協力、ご支援をひたすらお願い申し上げますと共に、年頭より決意もあらたに、村の発展に一層の努力いたしますことを誓い、村民皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

くらしを見直す年に

公民館長 船田 正路

私たちが年代の若者がよく聞いた言葉に「困苦欠乏に耐えよ」という言葉があった。

昭和二十年八月、長い戦争が終りを迎える途端に言語に絶する物不足が追い討ちをかけ、日本国中の人々が食糧や衣料を買い、買いで生命をつなげねばならぬ、いやな時代であった。

そんな苦難な時代も朝鮮戦争の特需で日本は奇跡的な経済復興をきたし、東京オリンピック時代を経て素晴らしい経済成長を遂げた。

自動車はちまたに氾濫し、家庭の電化は都会と田舎の差をうめつくし、まさに昭和元祿、世界第二の経済大国にのし上がり「困苦欠乏」といった言葉は、ミミチイ言葉、などと言ったミミチイ言葉、ついに私達の生活の中から消え去ったのであった。

おこるものは久しからず、第一次中東戦争からほぼ一世紀と繁栄のひびきが現われ始め、大都会における大気汚染、ゴミ公害、水の銀のたれ流し、河川のよこれなど、

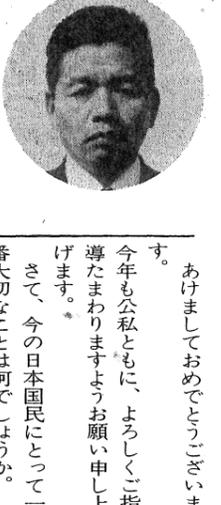
一口に言って、権利の主張と義務の遂行を如何にバランスを取るかにあると思えます。

このことは民主主義教育の過程において、意味のはちがいをしたことにあり、結果として、結果的には大きな社会問題を引き起す原因となってきたことを忘れてはなりません。

自分達の権利のみを主張して、善良な国民の迷惑などいっさいに考えない、労働組合のストライキ。そして、それはインフレをまねき、

権利と義務を考える

村議会議長 森川 重生



あけましておめでとうございます。今年も公私ともに、よろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今の日本国民にとって一番大切なことは何でしょうか。

私たちが健康で住みよい郷土づくりに、公民館活動の積極的な皆様の参加をお願いして新年のご挨拶といたします。

豊かで健康で住みよい郷土づくりに、公民館活動の積極的な皆様の参加をお願いして新年のご挨拶といたします。

豊かで健康で住みよい郷土づくりに、公民館活動の積極的な皆様の参加をお願いして新年のご挨拶といたします。



ご成人おめでとう!

—決意もあらたに—

やねばし

手紙を書くことさえ忘れていたけれど、こうしてペンを握ると済まない気持ちでいっぱいです。

父ちゃん母ちゃん元気ですか？手紙ありますか？。返事遅くなつて済みません。

都会での春夏秋冬を無事乗りきり、何が僕の中に吸収出来たのだろうかといつも考えます。

愚痴をこぼしながらでも、長男はやはり村に残って家について、何かやることがあったような気がしました。

春には空気に咲くスミレを見て、ふるさとをなつかしいと思えました。

コンクリートの電柱に鳴く蟬の声を聞いては、水見に歩いた田んぼの中のぬるま湯を、思わず足首に感じました。マーケットに並ぶまっすぐな柿を見て、うまかった家の富有柿の味を思い出しました。

そして今、都会で一番殺風景な冬を過ごしています。

殆ど積ることのない雪に、ふるさとの雪景色がたまたまなくなった。休日、遙かな山の積雪を求めて車を走らせました。そして白い雪の山の村に着きました。

けれど、ふるさとの河辺とは、みんな違っていいんです。

どの家の軒下にも、吊し柿も見当らず、爐ばたにうずくまる優しい祖母の顔も、雪の煙でネギを掘る母の姿もない。

井戸に続く長靴の跡も、ただ白いことだけが似ているのです。……(後略)

「ふるさととは遠くにおいて思うもの」といいますが、かなり感傷的なこの手紙は、中国の〇市に働く長男が二年前によこしたものです。

始めて家を出る息子の慌ただしい出発の日、自分の生活費と共に、何気なく与えた二個のハイライトを、今なお大切にしている。息子を、今なお大切にしている。息子を、今なお大切にしている。

又、息子の便りを全部靴に入れて通動している親父の私、なんと感傷的な親子ではある。(T)

新成人者は次のとおりです

- | | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 大成 | 小林 憲市 | 中居 | 片山 松一 |
| " | 富永 栄子 | " | 片山 竹志 |
| 椽谷 | 長岡 敏幸 | 川上 | 松尾 進 |
| 植松 | 真田 敏幸 | 横山 | 熊野多美子 |
| " | 藤原 敏幸 | 三久保 | 小西弥寿夫 |
| " | 波部 邦男 | 百合谷 | 浜本利津子 |
| " | 植木愛由美 | 名場連 | 織本 博文 |
| 出合 | 浦野ツヤ子 | 坂本 | 岡林 寿子 |
| " | 富永喜千子 | 帯江 | 梶川 勝博 |
| " | 三崎 洋司 | 竹ノ瀬 | 中野 純子 |
| 鴨谷 | 向井 妙子 | " | 沖石 純子 |
| 川崎 | 宮本 浩一 | 稲谷 | 高木由美子 |
| " | 山下 義文 | 日其川 | 土居 良子 |
| " | 水本 内匠 | | |

責任感を強く かんじる



藤原 司

成人式を迎え、改めて「自分」ということを考えてみた。
「成人式」これは、真の大人へのパスポートであり、少年から大人への分岐点であり、人生の道標だと思ふ。
先ず選挙権の獲得で、これは現実的なものとして、二十歳というものを、示してくれる。
今までは、無関心であったものが、これからは、目をふせて通過しえないものとしてある。
一票とは言え、参政しているには違いない。統一地方選があり、今から待ち遠しく思っています。
次に、責任感を強く思ふ。
例えば、新聞紙上において「少年A(十九歳)」なんて出ているが、これが自分だとしたら、これからは、名前が出ることになる。これは、自分の責任は自分がとらねばならぬということでしょう。
それは重大なことで、慎重に行動せねばならぬです。
もう保護者は、あてにできないのだから。
最後に式後、河中、稲月校長先生の講演の中で「自分の運命は、自分の努力で開拓せねばならぬ。」と言ふことをお話しになったことが、強く胸にしみ込んでいる。
僕達は、戦争を知らぬから、戦時中のことを話されてもピンとこない。
時代の断絶なんてものではなく、これは時代の流れだと思ふ。
しかし、昭和五十年は明けても世の中は公害、交通事故、食糧危機、爆弾テロ、親殺し、子殺し、etc.。これらは、戦争以上の戦争だと思ふ。
世の中、荒廃へ向っている。
だが、いつ終わるか知れない人生、それがたとえ明日でも、生きよう努力は忘れてはならない。
しっかりと自分の道を、自分の足で、歩んで行きたいと思ふ。

はずかしくない 社会人をめざして



富永喜千子

激動と社会不安の中で迎えた昭和五十年の成人式に望み、私達は「社会人としての自覚と認識を今日程、痛切に考えさせられたこと」はあります。
河辺村に住む私達若人は、これからさき、大人達の仲間入りをして、立派にやっつて行けるかどうか、内心自信があると言ったら、嘘になります。
しかし、私達成人者となった今では、固い決意をもって、社会人としての理念を貫き通して、はずかしくない、人格形成につとめたと思ふ。

話は変わりまして、私が一番成長

自己を見つめ 前向きな姿勢で

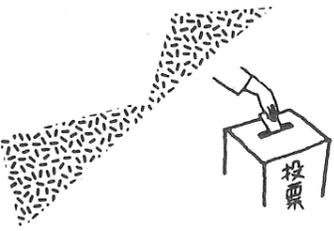


高木由美子

月日の経つのは本当に早いもので、私も成人の日を迎えるに至ってしまいました。
二十歳。今、二十年の歩みを振り返ると、この背中に感じる重さを感じつつ、正直戸惑っている。
二十歳の歳月は、あまりにも早く過ぎ、自分自身何の確信も得られず、成人の日を迎えた今、自分の目の前に開かれた大人の世界へ踏み出す第一歩は、たとえようもないほど頼りなげで、不安でいっぱいです。
しかし、今年、永い一生の間で、私にとって第二のスタートとも言える年であり、いろんな意味において思い深い年になりそうです。
未知の社会へ飛び込み、「なんとなかなく」の精神的な甘さを存分に思い知らされ、自分自身で自分を立てていかねばならない責任の厳しさを味わいながら、一歩一歩、納得のいく悔いのない今日を生きたいものです。
次代をなう若者として、一社会人として、自己を見つめながら明日へと前向きな姿勢で頑張りたいと思っています。

20才に思う

最初のうちは、「私が着物を着たら？」なんて、一人喜んでいたら、実際に着てみると、なんとなく、チンドン屋みたいな気分、その上、足がしびれないかと心配でした。ほかの人達を見ると、別になんでもないようなのに、どうして自分だけそう思うのかな。
今度、姉の結婚式が近々あります。その時も、着物の予定ですが、とにかく、成人式を迎えてからの私は、どうも着物がにがてになつたようです。
こんな私だから、これからさき皆様と一緒にやっつて行くにしても、失敗する事の方が多いのではないかと、心配です。
これからは、先輩に指導してもらって、頑張っていきたいと思ふ。



あすの 農作業



「粟のカイガラムシが河辺村にも発生」
一、発生経過は、
カワマルカイガラムシは、昭和四十一年に九州で発生し、四十四年には内子町で大発生し、当河辺村にも昨年百合谷、三久保、鴨谷、赤ヶ滝等で発生が確認されていますが、他地区での発生が予想されますので、充分注意して下さい。
二、虫の生態は、
一年二回発生し、一匹の成虫が一回に二百〜四百の幼虫を産みますので、成虫が一匹春に存在すれば、その秋には、四万匹〜十六万匹の幼虫が発生します。
三、充分な発生予防を、早期発見し、低利で融資申請し上げておきます。
当、河辺村においても、この簡易保険による既に次の施設等につくられて、住みよい郷土づくりに役立っております。
今後、いっそう簡易保険の普及発展に、ご加入者の付託に答えるとともに、その簡易保険の資金を通じて地域の発展に寄与する所存であります。

簡易保険の資金が 郷土づくりに利用!!

みなさまの暮らしたるの保障として、ご愛顧をいただいております簡易保険の積立金は、ご加入者の保険の保護とあわせて、地域の福祉増進、産業文化の開発振興に寄与するため、低利で融資申請し上げておきます。
当、河辺村においても、この簡易保険による既に次の施設等につくられて、住みよい郷土づくりに役立っております。
今後、いっそう簡易保険の普及発展に、ご加入者の付託に答えるとともに、その簡易保険の資金を通じて地域の発展に寄与する所存であります。

みんなの広場

みなさん、十年間で百五十万円に達した「ケチ」ふりを紹介しましょう!
(一)たばこを毎日二百円検約して、月六千円、十年で七十二万円、
(二)酒を一日(百五十円を)百円節約して、月三千円、十年で三十六万円、
(三)散髪を毎月(千円を)妻が代行して、
年に一万二千円、十年で十二万円
(四)古新聞紙を毎月チリ紙にして

ケチの五ヶ条

以上ほんの一例ですが、創意工夫すればその他にも節約することがたくさんあると思ふ。
みなさん、「ケチ」を見直す時がきました。
節約をモットーにして頑張らしましょう。

おしらせ

農業センサス、
一、目的
前回センサス(四十五年)以後の農業の変化と実態を明らかにして、国、県、及び村の農業行政に必要な基礎資料を整備するために、実施されます。
二、調査の対象
全国の農家及び、農家以外の農業従事者のすべてが対象となります。
三、調査期日
二月一日現在で行ないます。
四、調査方法
調査は「農家調査」と「農家以外の農業従事者調査」の二つに分かれ、調査員が農家を訪問し、聞き取りの方法で行ないます。
◎農家のみなさん、このセンサスの意義を十分理解されて、よろしく協力をお願いします。
一、防犯従事者
特別支出金
防犯に従事して死傷した警防団員等に、特別支出金が支給されることになりましたので、該当者があれば「二月二十五日」までに、総務課までご連絡ください。

虚礼廃止運動

施設名	金額
河辺小へき地集会所	1,000千円
坂本小	600 "
大伍小	600 "
北平小	1,500 "
河辺中・北平中へき地集会所	1,400 "
河辺中	600 "
北平中	1,500 "
有線放送	2,000 "
林道中居線	2,000 "
農道日の平線	2,900 "
植松簡易水道	850 "
北平	850 "
計	15,800 "

昭和二十六年立村以来

くらしを豊かにするため、むだと無理の多いお返し廃止運動を進めています。
あなたも勇気をもって、この運動に参加して下さい。
河辺村連合婦人会

短歌

看護婦の優しき処置を吾子もまた
学びてほしき看護の業に
城山の最近朝の窓に佇ち
吾が故郷の山をぞ思ふ
上林ヨシ子
ブレーキを締めつつ下る坂道の
露霜清し朝の光りに
うす暗き部屋に白髪浮きたちて
独居の老婆の姿目に沁む
清水 孝
過疎の里老いたる父母の待つ家に
子等は集いてははやく我が家
来る年へかすかな想いたくしつ
切つて揃えし松竹梅
大西ミツマ
遠きに住む子等久々に帰り来て
初春の我が家に愛はただよう
あか／＼と燃ゆる炭火になごみつ
雪降る窓辺に一人歌を詠む
清水 菊江
お歳暮に孫の送りしおき戸棚
えとのうさぎを飾りて楽し
子等も皆そろいて過ごす初春に
知らぬ麻雀仲間入りして
関井恵美子
待ちおりし内孫生まれ家内中
よろこび日毎生気みなぎる
正月を故郷でする子や孫に
疲れを忘れ今日も楽しく
名本 勅滋
元旦の祈念りのうちに響きこし
拍手の音耳底にきえず
放春花の花門松下におく吾れを
呼ぶか青鳩裏山に鳴く
井本 繁男

編集室

○館報第二十七号をお届け
いたします年あらため、
みなさんそれぞれ「今年こそは」と意欲を燃やしておられること
でしょう。
○「みんなの広場」欄をもうけましたので、ご意見、体験、その他、どしどしお寄せ下さい。